

No.28 童の里の概要

童の里は、江戸時代（1603年-1868年）の美術品や工芸品で飾られた5つの歴史的建造物で構成されている。博物館は、蔵王北東部にあり、300年に渡る旅館経営の高見屋ホテル・グループによって運営されている。童の里美術館に展示されているたくさんの美しい展示物は、江戸時代（1603年-1868年）の地方大名の生活と富を鮮明に映し出している。建物自体も歴史的な宝物であり、いくつかは他の地域からここに移築された。そのうちの2棟は宮城県から、他の2棟は山形市から移された。

美術館の膨大な美術工芸のコレクションに加えて、博物館は様々な高位の訪問者によって使用された多くの展示物を所有している。もともとは明治天皇訪問（1852-1912）のために建てられたこの複合施設内の家の一つは、オリジナルの装飾と共に驚くほど大切に保存展示されている。童の里への訪問者は、山形の歴史や博物館を運営する高見屋旅館について知ることができる。博物館は午前9時から午後5時まで開いており、入場料は700円。